

科目名	電子機械システム工学特別研究 Thesis Work	科目コード	A1010
-----	-------------------------------	-------	-------

学科名・学年	電子機械システム工学専攻・1, 2年（プログラム3, 4年）
担当教員	電子機械システム工学専攻全教員
区分・単位数	必修・14単位
開講時期・時間数	通年, 630時間【内訳：講義0, 演習0, 実験0, その他630】
教科書	
補助教材	
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

電子機械システム工学分野における研究課題について、指導教員のもとで学術研究を行う。

○関連する科目：卒業研究（本科5年次履修）、専攻科ゼミナール（同時履修）、
地域産業と技術（同時履修）

【B. 到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(B), (D), (E), (F), (G)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
①電子機械システム工学分野における特定の研究課題について、研究計画を作成し、実験や調査を行い、得られた結果の解析と考察を繰り返して、問題解決能力と技術の開発や応用に関する研究能力を習得する。	60%	(D1-4,E1-3,F1-2,G1-3)
②研究の内容とその要点をわかりやすくまとめ、研究成果を論文としてまとめる能力を習得する。	20%	(B1-2,F2,G1)
③学会発表可能なレベルの資料作成能力とプレゼンテーション能力を習得する。	20%	(B1-2,F2,G1)

【C. 履修上の注意】

自主的に研究計画を作成し、計画的に研究を遂行する必要がある。また研究発表では、十分練習を行って、他人に理解してもらえ発表を行う心構えが必要である。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 学習時間報告書・平常の取り組み（60%）
- 研究論文（20%）
- 研究発表（20%）

【E. 授業計画・内容】

各指導教員に従うこと。

○提出物及び発表について

1. 学習時間報告書

毎月指定期日までに指導教員及び各専攻科委員に1部ずつ提出。

2. 特別研究論文

指定期日までに主査・副査に1部ずつ提出。

3. 講演要旨原稿

指定期日までに各専攻科委員に原稿見本にしたがってPDFファイル、原稿を提出。

1年生はA4 2ページ，2年生はA4 4～6ページとする。

4. 特別研究発表会

2年生は口頭発表（発表10分＋質問5分），1年生は中間報告としてポスター発表を行う。

○成績評価について

1. 学習時間報告書，特別研究論文，講演要旨原稿を提出し，特別研究発表会で研究発表を行った者について，次の要領で評価を行う。

2. 特別研究論文・講演要旨原稿による主査の評点A（10%），副査の評点B（10%）。

3. 特別研究発表（口頭発表）による評価は，原則として関連学科の全教員が行い，平均点を評点Cとする（20%）。

4. 学習時間報告書（平常の取り組み）による指導教員の評点D(60%)。